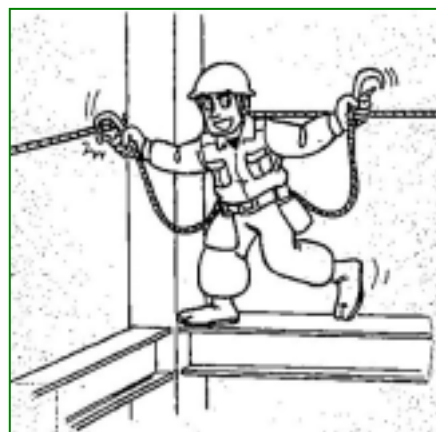


- 2丁掛け安全帯を使用して確実な墜落防止を -

鉄骨建方作業では2丁掛け安全帯の使用を標準ルールとします



2丁掛け安全帯を着用した姿



左の図のように梁から梁へと乗り移る際、親綱から親綱へ安全帯を掛けかえる必要が生じますが、安全帯を親綱へ掛けかえるその瞬間は、どこにも掛かっていない状態で動作をしているため、そこに落とし穴があります。

当社においても過去に鷹工が梁から梁へ渡る際に**安全帯がどこにも掛かっていない状態で墜落**した災害がありました。その掛けかえ時の危険性を解決するのが2丁掛け安全帯なのです。

「安全帯は命綱」

注意！ 「カラビナ(右写真)」に補助ロープを取り付けて2丁掛け安全帯として使用することは**絶対禁止**！  
 カラビナが破損して墜落した事例があります  
 安全帯の規格に適合したもの以外は安全帯ではありません



新発田建設の安全ルール

§ . 高所作業における2丁掛け安全帯を義務付ける職種は下の表に該当する作業員とします

下欄にあるとおり、鉄骨組立に従事する作業員だけでなく、鉄骨梁上で塗装、各種金物取り付け、水平ネットの取り付けなどを行う作業員も含まれます。

作業名	対象作業員
鉄骨組立作業 (本締、デッキ敷込み含む)	鷹、鉄骨鍛冶
安全帯の付け替えが必要な作業で所長が選定した者	従事作業員